

フレキシビリティの  
高い交流活動の場

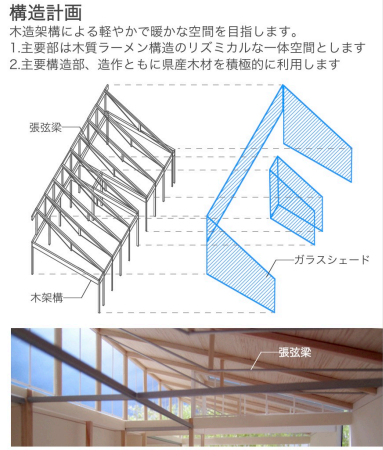
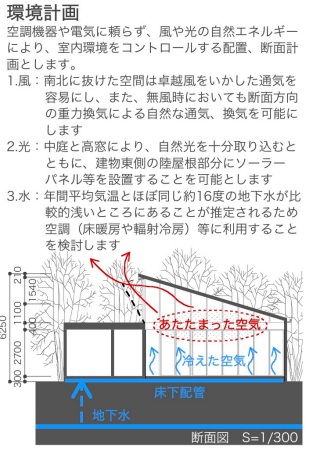


### 建物データ

延床面積	196.26㎡ (容積率 44.89%)
建築面積	205.36㎡ (建蔽率 46.97%)
最高高さ	6.090m
最高軒高	3.450m
構造	木造、一部鉄骨張弦梁
屋根	金属板葺
外壁	木板張り・金属板張り
内壁	木塗装仕上 (県産木材)
天井	木塗装仕上 (県産木材)
床	木塗装仕上 (県産木材)

### 施設規模

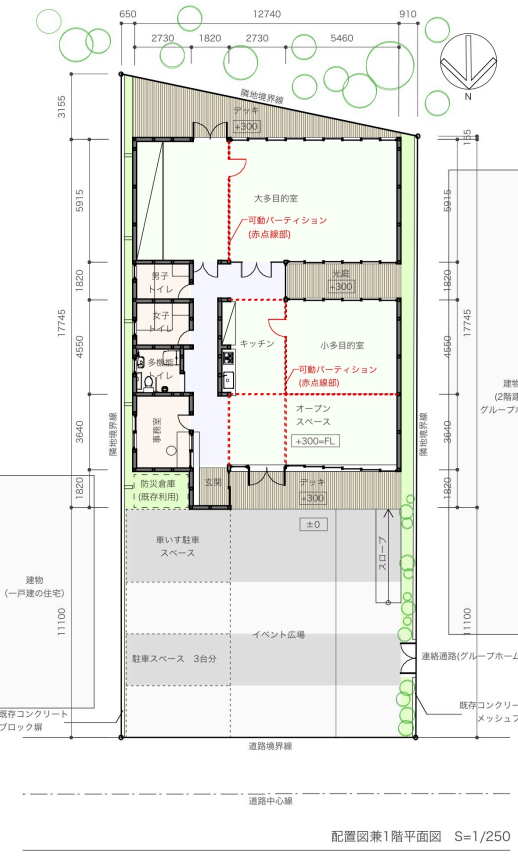
大多目的室	75.36㎡
小多目的室	24.84㎡
オープンスペース	44.23㎡
事務室	9.94㎡
共用スペース	41.89㎡
屋上設備スペース	72.46㎡
駐車場	4台(障害者用1台含む)



### 全体計画

敷地全体を一体利用できる「フレキシビリティの高い」空間を提案します。そして、周辺の自然と一体となった、子どもからお年寄りまで「安心して」楽しめる、「心地よい」場所の創造をめざします。

1. 管理系諸室、駐車スペースを一列に配置することで、イベント広場から南側デッキまで敷地全体を一体的な空間とし、必要に応じて間仕切りながら利用ができます
2. 北側にイベント広場として利用可能なスペースを最大限確保します。それに伴い駐車スペースは路上切り回し不要の安全な配置とします
3. イベント広場は平常時、非常時を問わず単独で有効利用できるとともに、デッキ、室内と関係付けることで多様な楽しみ方ができるよう考慮します
4. 室内は木造架構の軽やかで暖かな連続空間とし、可動パーティションによって様々な利用形態に対応します
5. デッキ、中庭を含め、内部床は全てフラットとし、徹底したバリアフリーを図ります
6. 全体計画に一般性をもたせることで、地域毎の特徴を重ね合わせることでできるふれあい活動センターのモデルを提案したいと考えています



### 小多目的室、オープンスペース、キッチン

通常はパーティションで仕切られ、それぞれが光と風を感じることでできる空間とします。一方、多様な利用方法に対応する可変性を重視します。とくに、これら3つのスペース相互の関係だけでなく、イベント広場、大多目的室と一体利用することも考えます。

